

# 業績動向

---

(2019/3期第3四半期の状況)

説明者 専務取締役 深井 彰彦

2019年2月6日



群馬銀行

東証第1部:8334

## 本日のご説明項目

1. 収益状況	.....	P.	1
2. 資金利益	.....	P.	2
3. 非金利業務利益	.....	P.	3
4. 有価証券	.....	P.	4
5. 与信費用等（単体）	.....	P.	5

# 1. 収益状況

## ■ 損益(連結)

(単位:億円)

	No.	第3Q	第3Q			年間計画 19/3期
		17/12期	18/12期	計画 進捗	前年 同期比	
コア業務粗利益	1	733	707	77.1	▲ 25	918
資金利益	2	603	579	① 78.5	▲ 24	738
投信解約益	3	39	36	92.3	▲ 2	39
(除く、投信解約益)	4	564	542	77.5	▲ 21	699
非金利業務利益	5	129	128	71.5	▲ 1	180
役務取引等利益	6	103	102	② 71.5	▲ 1	143
その他業務利益	7	26	26	71.6	0	37
経費(除く、臨時)	8	437	438	76.3	1	575
(コア業務純益) 1-8	9	295	269	78.4	▲ 26	343
(有価証券関係損益)	10	117	③ 106	90.2	▲ 10	118
(与信費用)	11	18	④ 31	85.7	12	36
経常利益	12	373	336	81.2	▲ 36	415
四半期(当期)純利益	13	255	230	81.0	▲ 24	285
(親会社株主帰属分)						
銀行単体	14	238	215	83.0	▲ 22	260
連単差額(連結・単体)	15	16	15	60.5	▲ 1	25

### <特記事項>

① 米ドル金利上昇を踏まえた外債ポート改善(銘柄入替)  
・売却先行に伴う運用残高減が主因。  
⇒ コア業務純益減少の主因

② 住宅ローン団信保険の配当減と料率アップ等(▲3億円)  
・投信・保険、法人役務(+2億円)  
⇒ 全体ではほぼ横ばい。

③ 106億円 有価証券関係  
<内訳>  
▲27 // (債券関係)・・・外債ポート改善  
133 // (株式関係) — ほぼ年間計画  
56 // (純投) —  
77 // (政策) —

④ 比較的大口先の格下げに伴う引当増加(約7億円)を主因に前年同期比+12億円。

# 2. 資金利益

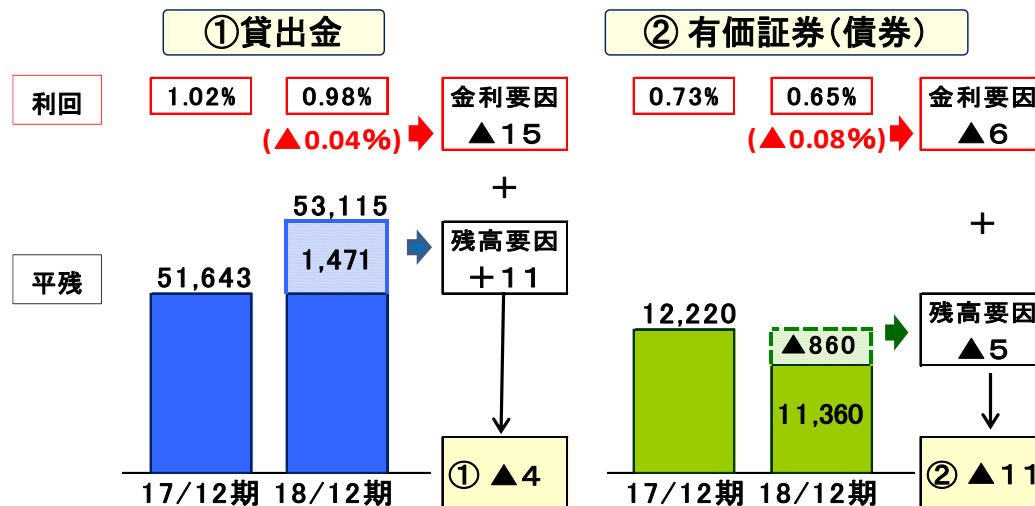
(単位:億円)

	No.	第2Q	第3Q	
		17/12期	18/12期	17/12比
資金利益(連結)	1	603	579	▲ 24
資金利益(銀行単体)	2	604	579	▲ 24
国内業務部門	3	560	551	▲ 9
うち預貸金	4	392	391	▲ 1
貸出金利息	5	400	395	▲ 4
預金利息(▲)	6	7	4	▲ 3
うち有価証券利息配当金	7	162	154	▲ 7
債券利息	8	67	56	▲ 11
配当金・分配金	9	55	62	6
投信解約益	10	39	36	▲ 2
国際業務部門	11	43	28	▲ 15
うち貸出金利息	12	22	36	▲ 14
うち有価証券利息配当金	13	69	38	▲ 30
調達費用(▲)	14	49	49	▲ 0

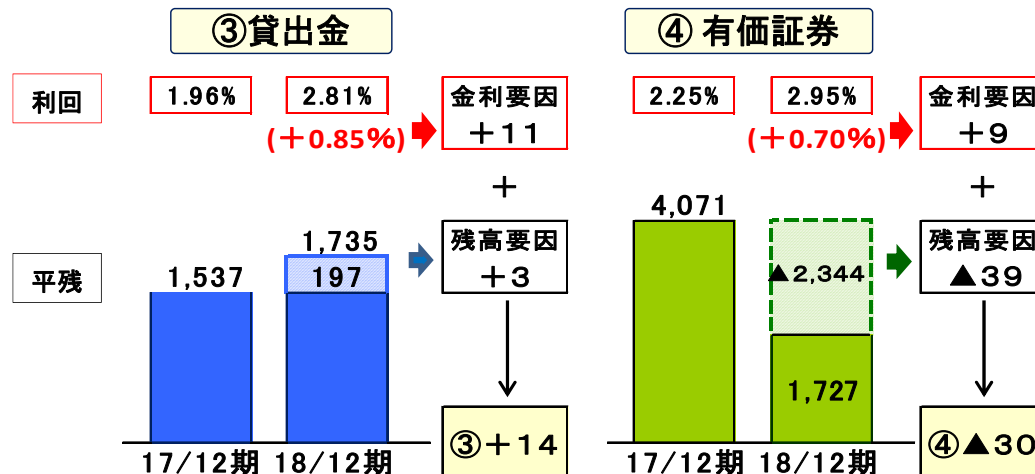
## 前年同期比増減の内訳(金利要因・残高要因)

### 《国内部門》

(単位:億円、%)

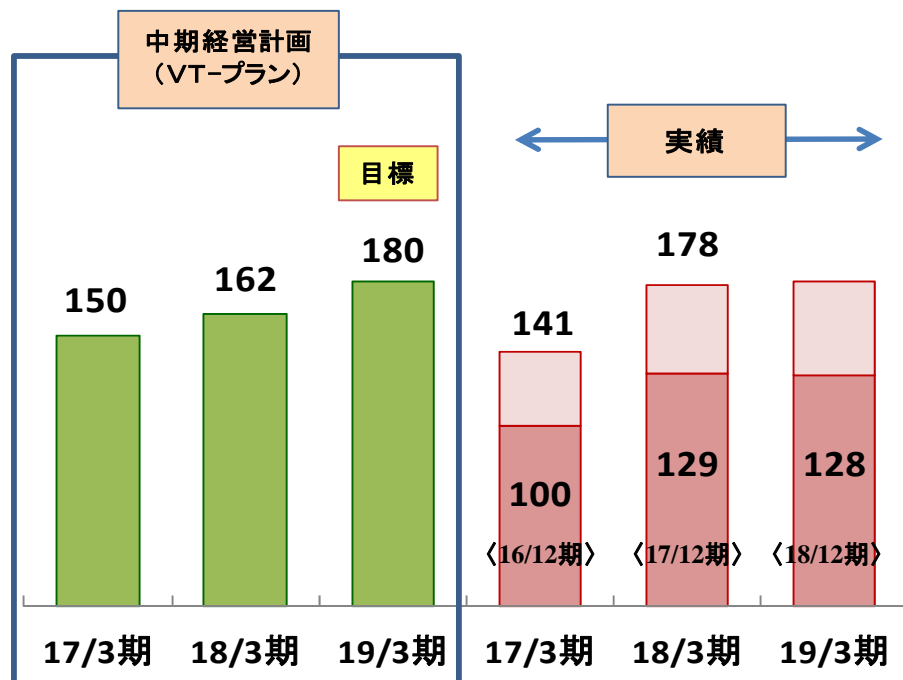


### 《国際部門》



# 3. 非金利業務利益

## ■ 連結非金利業務利益の状況



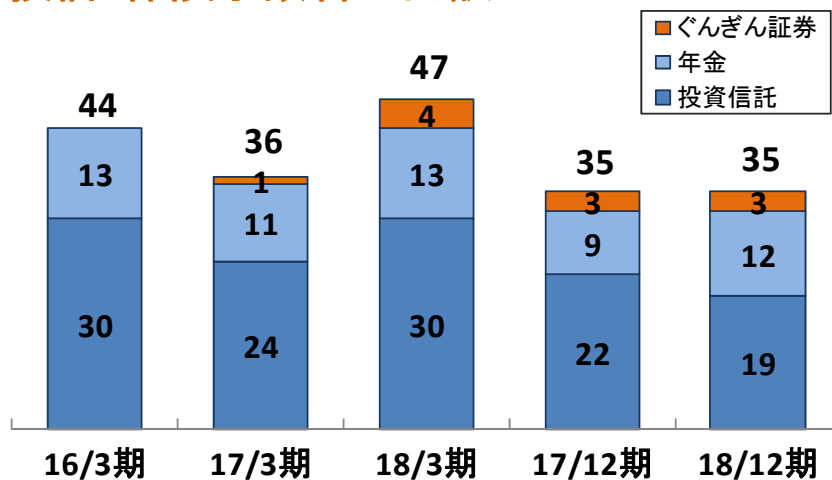
## ■ 非金利業務利益の内訳

(単位: 億円)

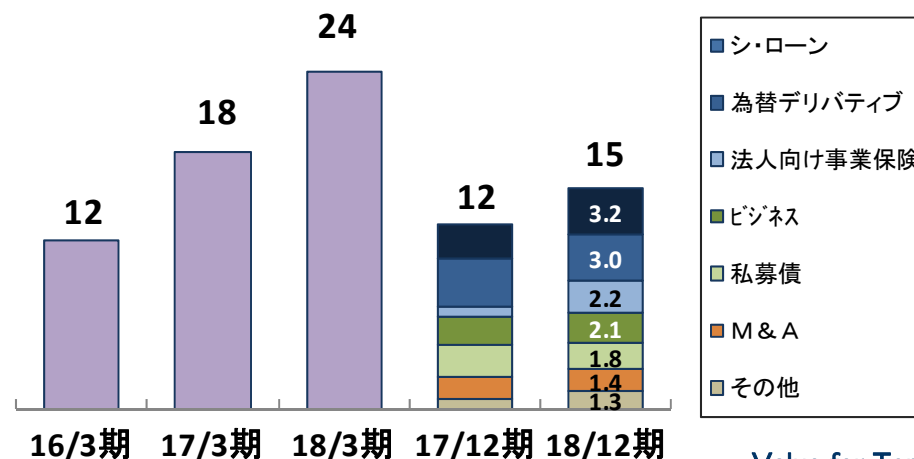
	17/12期	18/12期	増減
連結非金利業務利益	129	128	▲1
銀行	88	87	▲1
基盤役務収益※	63	64	0
投信・保険手数料	31	31	▲0
法人役務収益	12	15	3
その他受払ネット	10	10	▲0
団信保険料	▲15	▲18	▲3
ローン保証料	▲14	▲14	▲0
子会社等	40	41	0
群馬信用保証	19	19	▲0
ぐんぎんリース	19	19	▲0
ぐんぎん証券	8	10	1
その他連結修正等	▲6	▲6	0

※基盤役務収益=為替、代理事務、EB、貸金庫等の手数料

## ■ 投信・保険手数料の内訳



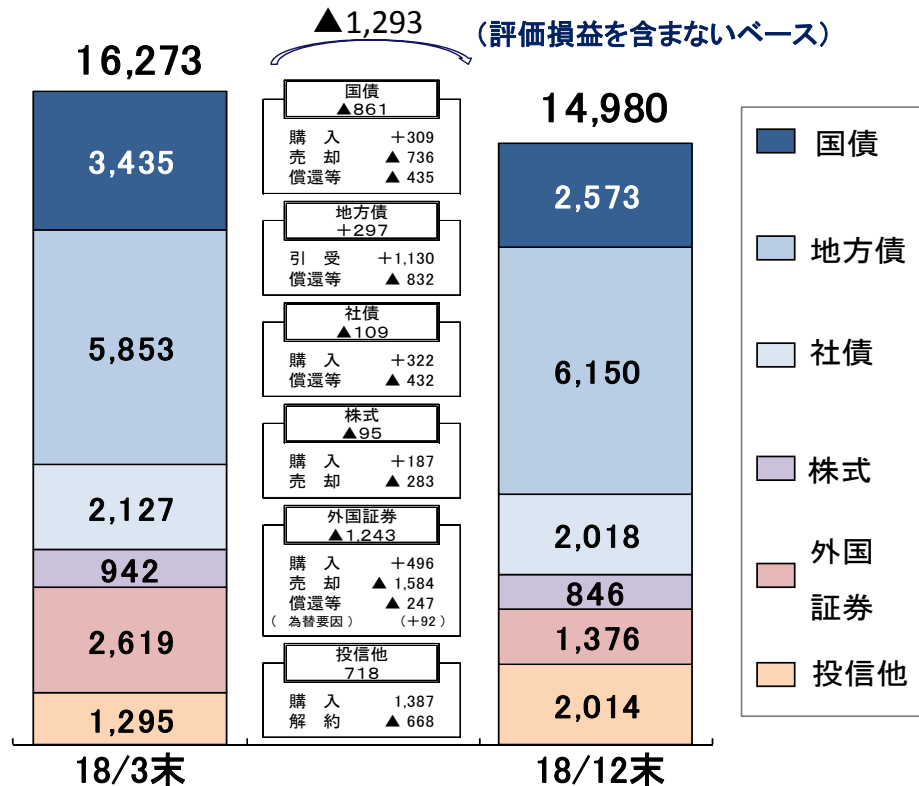
## ■ 法人役務収益の内訳



# 4. 有価証券

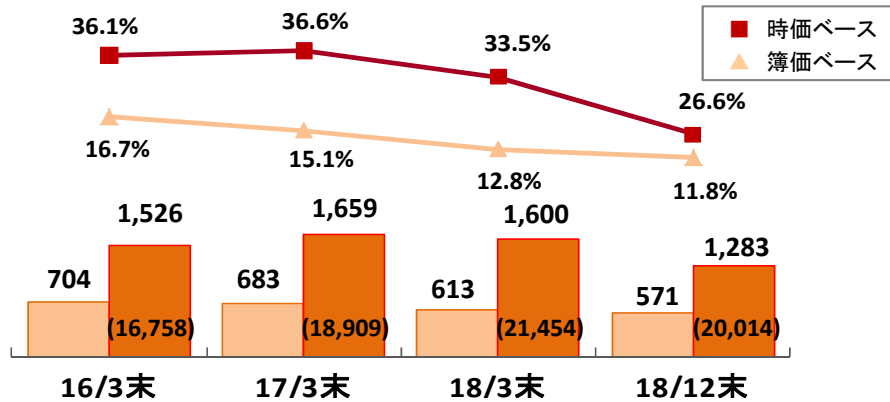
## ■ 有価証券末残高

(単位:億円)



## ■ 政策投資株式残高と単体Tier1対比

(単位:億円)



## ■ その他有価証券評価損益

## ■ 売却損益

(単位:億円)

	18/3末		18/12末	
	17/3比	18/3比	17/3比	18/3比
債券	195	▲71	166	▲29
株式	1,139	12	753	▲386
政策	986	11	712	▲274
純投	153	0	40	▲112
外国証券	▲6	▲60	▲2	4
ETF	▲1	▲31	▲0	0
債券他	▲5	▲29	▲1	4
投資信託	22	▲63	▲81	▲103
私募	14	▲36	▲93	▲107
REIT	7	▲6	15	8
ETF	0	▲20	▲3	▲4
小計	1,155	▲111	670	▲485
合計	1,350	▲183	836	▲514

	18/3期	18/12期
	債券	0
株式	108	130
政策	44	77
純投	63	53
外国証券	▲17	▲31
ETF	21	▲0
債券他	▲38	▲31
投資信託	55	39
私募	37	36
REIT	▲4	-
ETF	23	3
小計	145	143
合計	145	143
資金利益	37	36
債券売却損益	▲42	▲27
株式売却損益	150	133

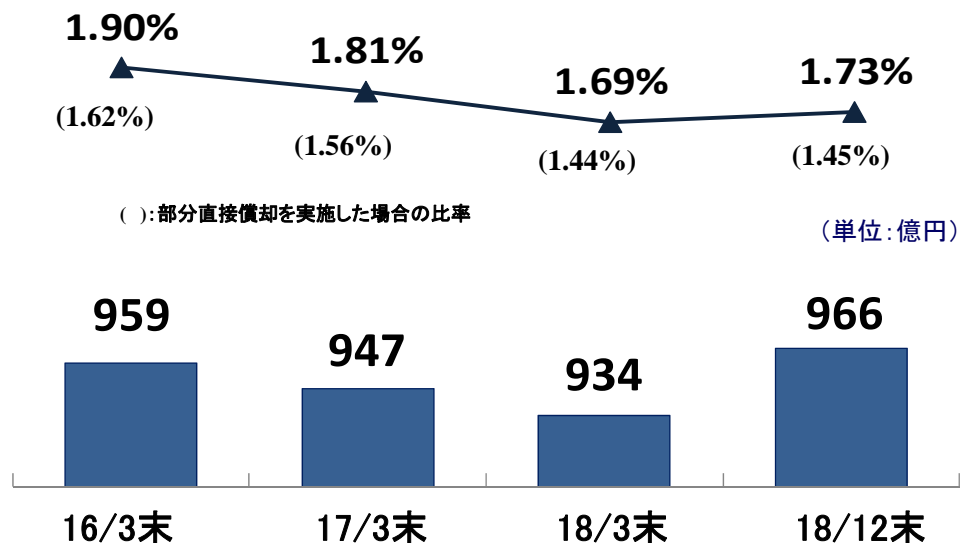
株式: 政策株の計画的売却。  
 外債: 入替の売却先行。  
 投信: 計画比前倒しで利益確保。

## ■ デュレーション・利回

	(国内債券)		(外国債券)	
	18/3末	18/12末	18/3末	18/12末
修正デュレーション(年)	4.16	4.23	3.90	2.01
債券平均利回(%)	0.72	0.65	2.19	2.87

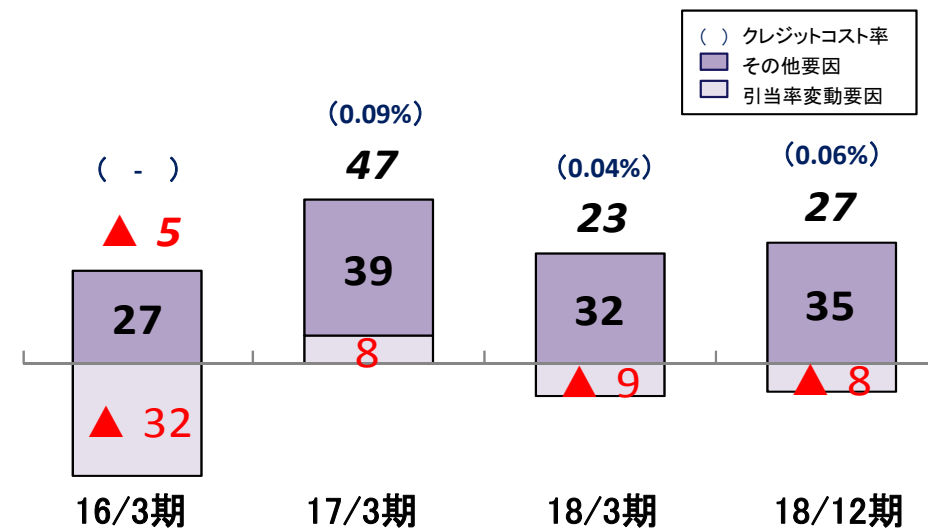
# 5. 与信費用等(単体)

## ■ リスク管理債権額(比率)の推移



## ■ クレジットコストの推移

(単位: 億円)



## ■ 貸倒引当金の引当率

(単位: %)

引当対象			16/3期	17/3期	18/3期	18/12期	
正常先			債権全額	0.027	0.039	0.044	0.044
その他	実抜計画先でない先	区分1	債権全額	0.821	1.111	1.038	0.994
		区分2	債権全額	7.878	8.106	7.200	6.693
要管理先	実抜計画先						
破綻懸念先Ⅲ分類			非保全額	42.016	39.488	37.470	35.005

### ◆ 与信費用について

<18/12期の主な内容>

- ① 突発破綻(正常・要注意⇒2段階以上のランクダウン)  
.....19億円(うち大口製造業1社7億円)
- ② その他のランクダウン..... 31億円
- ③ その他回収・ランクアップ等(ネット)・・・ ▲15億円
- ④ 引当率要因..... ▲8億円

本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、

リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる

可能性があることにご留意下さい。

本件に関するお問合せ先

株式会社群馬銀行 総合企画部 経営管理室(IR担当)

TEL 027-254-7055、7051、9451